

## ヤブガラシ (藪枯らし)

名前の意味：つるで藪を覆い、枯らしてしまうという意味。

分類：双子葉類、ブドウ科、ヤブガラシ属

(ブドウ科の栽培植物：ブドウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばたや手入れの悪い庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：5つの小葉に分かれた赤味を帯びた葉、他の植物に巻きつく  
二又に分かれたつる、緑色にオレンジ色の花床がまじる花序 (花の集まり)。

種子の運ばれかた：普通種子はできないが、できれば鳥に食べられて運ばれる

花弁の数：離弁、5裂 (花が咲く時に落ちてしまう)

花の時期：7 - 9月

食べ方：食べない

見分け方：アマチャヅルは茎が細く、暗い林の下に多く生える。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)